





あなたの髪はどんな夏髪ダメージ？

Pattern. A	Pattern. B	Pattern. C
パサつく・広がる 	ベタツとなる・うねる 	ゴワつく・硬い 
ケアで解決! 滑らかでつややかな髪に	ケアで解決! ふんわりシルエットに	ケアで解決! しっとりやわらかな仕上がりに
<ul style="list-style-type: none"> □ シャンプーは、補修しながら洗う成分を配合したものを選びましょう □ やさしく洗い、ケアできるヘアケア製品を取り入れましょう □ ダメージ部分に補修成分を効果的に補給できる処方に注目しましょう 	<ul style="list-style-type: none"> □ 泡立ち豊かなシャンプーですっきりと洗い上げましょう □ ハリ・コシをプラスする処方のヘアケア製品を選びましょう □ 内部補修と被膜形成にすぐれた成分に注目し、髪の外・内側両方から自然なボリュームをつくりましょう 	<ul style="list-style-type: none"> □ 髪にコーティング膜を形成する成分に注目し、ダメージを抑制しましょう □ ヘアカラー成分を髪内部にキープする処方で、ツヤのある髪を目指しましょう 

NEWS

夏のダメージに注目の成分

1 ハス花エキス

ハスの花から抽出されたエキス。地肌や髪を紫外線によるダメージから防御する働きを持ちます。キューティクルを保護して艶やかな髪を守るほか、ヘアカラーの褪色を防止します。

2 白金 Pt

プラチナとも呼ばれる成分。抜け毛や薄毛、白髪と関与する活性酸素を除去する作用を持つだけでなく、髪にツヤを与えます。

ここも注目!

ドライヤーをさぼっていませんか？

ドライヤーの温風で髪を乾かすのがおっくうになる、暑い季節。洗髪後に、つつい髪を濡れたままにしていますか？髪や頭皮を濡れたまま長時間放置すると、雑菌が繁殖しやすい環境になり、健康な髪の成長を阻害することもあります。

Hint

風量の大きいドライヤーで乾かせば、短い時間でドライヤーすることができます。髪への熱ダメージも最小限に!



夏の /

美しい髪を守れ

髪トラブルからレスキュー!

夏は髪と頭皮がダメージを受けやすい季節。紫外線や汗など、夏ならではの要因で髪に負担がかかったり、髪の成長サイクルが乱れやすくなると言われます。そんな時期にケアをおろそかにすると、秋になってから乾燥・抜け毛・薄毛・栄養不足などのトラブルが起こる可能性大!美しい髪をキープするためには、季節や悩みに応じたケアを積み重ねることが大切です。



3 夏のダメージ大原因

原因 3 脂

暑い季節には、汗だけでなく脂も多く分泌されがち。ベタつきやベタツとしたシルエットの原因の1つになるほか、毛穴にたまりやすく、頭皮環境を悪化させることもあります。

原因 1 紫外線

太陽から降り注ぐ紫外線量が、最も多くなる夏。キューティクルの損傷やパサつき、ヘアカラーの褪色などを引き起こすことがあります。

原因 2 汗

じっとしていても汗をかいてしまう暑い季節。汗はニオイの原因になることはもちろん、髪や頭皮が濡れた状態が長時間続いてしまうこととなります。濡れたままの髪はダメージを受けやすく、頭皮には雑菌が繁殖しやすくなります。

